

# 古写真や絵画で見る 仙台歴史散策

## 仙台伊達家の雛調度

仙台市博物館 主幹兼学芸普及室長 高橋 あけみ

### 第3回

三月三日は桃の節句。女の子のお祭りとして今も雛人形を飾りますが、江戸時代の大名家でも雛飾りを華やかに飾りました。

#### 雛まつりの歴史

雛まつりの原形は平安時代にはあったようです。陰暦の三月上巳(三月はじめの巳の日)に宮中では水辺で禊ぎ



写真1 竹菱葵紋時絵雛調度のうち行器 仙台市博物館蔵 (2/5から4/14まで同館常設展で展示中)

や祓(はら)いをし、やがて曲水(まがみづ)の宴を催すようになりまし。これに人形(ひとがた)を川に流し厄払いをする習俗が一緒にになり、次第に雛まつりとなったと考えられています。

江戸時代に雛まつりは武家子女の行事としても定着し、雛人形や雛道具は婚礼調度の一部として豪華なものが制作されました。雛調度は婚礼調度のミニチュアです。大名家の婚礼調度は取り揃える品々も多いことから、数年かけて制作されました。雛調度は女子が生まれるとさっそく準備されたと思われ、ますが、実際の婚礼調度を制作する前の、テストパターンとして作られたのではないかと考えられています。

#### 仙台伊達家の雛調度

現存する仙台伊達家の雛調度は十代藩主伊達齊宗に嫁いだ紀州徳川家の錯(さく)姫(ひめ)の所用と考えられるものです。棚類(たなぐら)や基盤(きばん)、将棋盤(しょうぎばん)、食べ物を入れる行器(ゆき)類(れい)(写真1)、長持(ながもち)、箆(へら)などです。黒漆(くろしき)地に金時絵(きんときゑ)で竹菱文(たけあし)や徳川家の家紋(かもん)を表し、小さいながらも豪華な作りの品々です。これらは昭和三年(一九二八)の東北遺物展覧会(東北遺物展覧会)に出品されました。当時の写真(写真2)を見るとたくさんある

第一三四四号 雛道具 伊達家

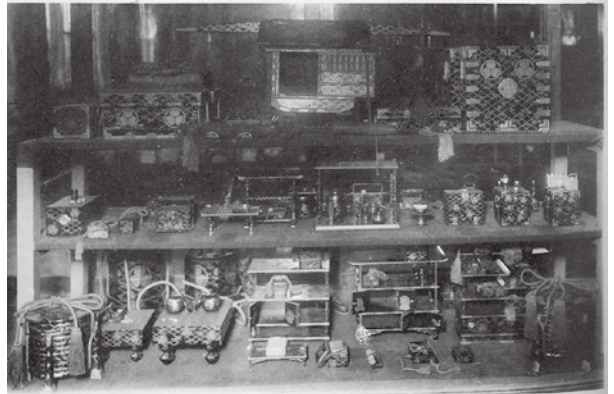


写真2 昭和3年「東北遺物展覧会記念帖」より(発行は昭和8年)

品々のうちの一部分であることがはつきりと確認できます。昭和三年当時はすべて仙台伊達家の所蔵でしたが、その後手放され、とある三陸地域の旧家が入手。大切に保管されていました。その後縁あつて幸いその一部を当館で入手することができたのです。なるべく毎年三月前後には展示し、皆様に楽しんでいただいております。しかし旧家に残っていた分は東日本大震災による津波で蔵ごと流されてしまい、錯姫(さくひめ)の雛調度として今に伝わるのは当館で入手した分のみとなってしまいました。震災は貴重な文化財も永遠に奪ってしまったのです。

大名家の女性の暮らしぶりはまだ謎の部分も多いですが、奇跡的に残った工芸品を目にするので、思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

#### 前売券好評発売中!

(一般・大学生のみ、4/18まで)

藤崎、仙台三越、チケットぴあ(Pコード:769-478)、  
ローソンチケット(Lコード:22231)、  
セブンチケット、イープラス、イオン仙台店、  
イオン仙台中山店、イオン仙台幸町店、  
イオン利府店、イオン富谷店、イオン  
名取店、イオン多賀城店、イオン石巻店、  
イオンスタイル仙台卸町、金港堂本店、  
金港堂泉パークタウン店、伊勢国屋  
書店仙台店、仙台市博物館ミュージ  
アムショップ、ミヤギテレビ事業部  
(022-215-7700・受付:平日  
10時~18時)



#### 特別展予告

# 猫展

4月19日(金)~6月9日(日)

●東日本初開催!●

猫は昔から日本人が深く親しんできた動物です。本展では江戸時代に巻き起こった「猫ブーム」の様子を、歌川国芳の浮世絵や、絵入り本、土人形などを通して紹介します。

【常設展観覧】一般・大学生1,300円(前売1,100円)、高校生700円、  
小・中学生 500円

※10名以上の団体は当日料金から各100円引き。このほか各種割引があります。

【開館時間】9:00~16:45(入館は16:15まで)

【会期中の休館日】毎週月曜日(4/29、5/6は開館)、5/7(火)



(左右いずれもたとえ尽の内に  
歌川国芳 個人蔵)

仙台市博物館 TEL:022-225-3074 ▶3月の休館日 毎週月曜日、22日(金)

SENDAI CITY MUSEUM 〒980-0862 仙台市青葉区川内26番地(山王城三の丸跡) ▶ツイッター @sendai\_shihaku ▶博物館HP 仙台市博物館

検索